(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	株式会社 秋田キャッスルホテル
実習期間	令和２年３月 12 日　～　令和２年３月 16 日
学生氏名	菅原 明日香
実習プログラム	･料飲部(ダイニングレストラン「ザ･キャッスル」) →接客全般、清掃 ･宿泊部(客室清掃、フロント) →ベッドメイク、エレベーターまでの誘導
学び・気づき （300 字程度）	私は、「お客様を笑顔にできるサービス」をテーマに、５日間の実習に取り組みました。今回の実習では、料飲部(ダイニングレストラン「ザ･キャッスル」)と宿泊部(ベッドメイク、フロント)の２つで実習をさせていただきました。２つの部署で様々なお客様を笑顔にできるサービスについて考え、直接お客様と関わるサービスから、ホテルの裏側で、目に見えないお客様を笑顔にできるサービスがたくさんありました。 ５日間の実習で「お客様を笑顔にできるサービス」について学んできて、お客様に笑顔になっていただくには、自分が笑顔になることも大事だと学びました。自分が笑顔で対応すると、お客様も笑顔になってくださることを、今回の実習で気づくことができ、１番の収穫になりました。

今後に向けた抱負 （200字程度）	今回の実習で、私は２つの課題が出ました。１つは、私は１つのテーブルに集中してしまい、視野が狭いと改めて痛感しました。このことは、日常生活でも身に付けることができると思います。なので、周りを見る習慣をつけていきたいです。 もう１つは、フロントでお客様を誘導しているときに、コミュニケーション力が足りないと感じました。コミュニケーション力は、ホテル業でなくても必要なことだと考えます。なので、残り３年間の学校生活の中で、たくさんの人と会話をしたり、協力して物事に取り組んだりして、培っていきたいです。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 （300字）	以前アルバイトをさせていただいた時の印象と変わらず、社員のみなさんは優しく丁寧に教えてくれました。また年齢層が広く、同年代の子も働いていて、とても実習しやすい環境でした。自分から話すより、社員の方々が、職業のこと以外にもたくさんお話をしてくれました。 今回の実習は、新型コロナウイルスの影響で、いつもより実習プログラムが少なくなってしまいましたが、それでも実習生のことを考えてくれて、内容盛り沢山の実習にしていただきました。
写真（1～3点）	なし